

～ 旬な現場 若手技術者の紹介 ～

工事名：平成29年度 三河港神野地区岸壁(-12m)本体工事(その2)

発注者：三河港湾事務所
受注者：若築建設株式会社

し ら え さ と し

2011年入社 **白江 怜史** (29歳 大阪出身)



名古屋支店入社、南は三重、北は新潟まで工事に携わってきました。これまでに栈橋、樋門、橋梁下部工事などを経験し、今回初めて現場代理人として三河港で工事を担当しています。

建設業に入ったきっかけ、魅力

学生時代、親戚に大きな建設機械を見せてもらって感動したこと、そして大学時代のスキューバダイビングを通して海に魅力を感じたこと、その二つがきっかけとなり、「よし、海で工事をしよう!」となって今に至ります。建設業の魅力はなんといっても、「ものづくり」だと

思います。現場のみんなと一丸となって工事が完成した時の喜び、達成感はとても大きく、次も頑張ろう!というエネルギーになります。熱意を持って、まじめにこなした分、よい物が出来ますが、その反面、手を抜いたり、あきらめてしまったら、如実にあらわれます。そこが「ものづくり」の難しいところでもあり、おもしろさであり、魅力だと思います。

現場での仕事とは

工事現場の施工管理、マネジメントです。工事を安全に、スムーズに進めるために、施工方法の検討、計画工程の立案、施工業者との打合せ、現場での安全管理、測量、工事の写真管理、出来形の管理などを行い、現場全体をマネジメントすることです。

その中でまず入社して現場でする仕事は、施工業者との打合せ、安全管理、測量、写真管理、出来形管理だと思います。実際に現場に出て、施工業者と手順や方法の打合せ、施工中に事故が起こらないよう安全設備を整え、レベルやトランシットといった測量器械を使つての測量、施工中の写真撮影、つくった物の出来形の確認、といった業務になります。これらをこなし、次のステップとして施工方法の検討・計画、工程を引いて現場の進捗を管理などなど、多岐にわたります。

これらは仕事をこなす中で、ひとつずつステップアップしてゆけますので、安心してください。

これからの建設業を担う若者たちへ

今建設業界では様々な改革が行われています。施工技術や機械性能の向上による簡易化、情報化施工による測量業務などの自動化、現場環境の改善などです。外で仕事をしなければならない中で、少しでも快適に仕事ができる環境にしようと変わってきています。この改革は私たち若手技術者がどんどん発信することで加速する、そんな業界だと感じています。

自分が携わったものが社会基盤としてみなさんに使ってもらえる、後世に残る仕事、すばらしいと思いませんか!ここの岸壁は私がつくりました、ちょっとした自慢になります笑。

現場での一歩目は測量したり、写真をとったりと小さなものからですが、その歩みを続けていく中でたくさんの人に会い、様々なことを経験し、教えてもらって成長できます。自分が成長すれば、より全体が見えてきてどんどん楽しくなっていきます。

みなさんもこのすばらしい建設業に入って、一緒に仕事しましょう!

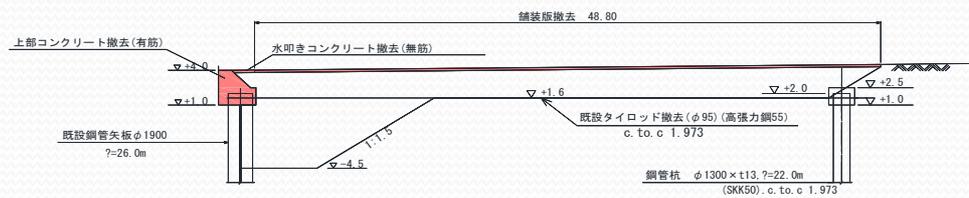


(若築建設マスコット わっくん)

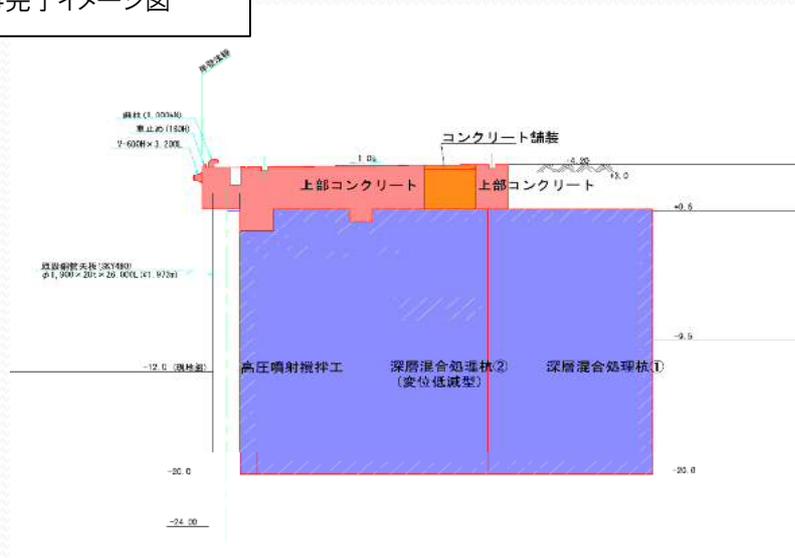
平成29年度 三河港神野地区岸壁(-12m)本体工事(その2) 工事概要

この工事は、岸壁の耐震補強のため、深層混合処理杭(CDM、CDM-LODIC)、高圧噴射攪拌工法により改良を行い、上部工を造りかえるものです。

既設岸壁撤去イメージ図



工事完了イメージ図



工事写真



工事着手前



アスファルト舗装撤去状況